

都立晴海総合高等学校 令和4年度 (教科名 公民科) 年間授業計画

教科:(公民)科目:(政治経済)単位数(2) 対象:(第3学年 必修)

使用教科書:改訂版 政治・経済(数研出版)

指導内容 【年間授業計画】	科目日本史演習の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点 方法	予定 時数
I 現代の政治 1. 民主政治の基本原則 ①民主政治の発達	民主主義成立の歴史的過程とその意義について理解できたか	市民革命の歴史について理解できたか (考査)	2
②世界の政治体制 アメリカ大統領制 イギリス議院内閣制	アメリカ大統領制:大統領選挙の方法、大統領の持つ権限、連邦議会の権限、陪審員制度について理解させる。 イギリス議院内閣制:議院内閣制の成立過程を通じて議院内閣制の持つ民主的な意義を理解させる、イギリス議院内閣制の日本への影響を考えさせる。	大統領制と議院内閣制の違いについて理解できたか (考査)	1
③日本国憲法の成立 大日本帝国憲法の制定と性格 日本国憲法の制定	大日本帝国憲法との成立過程の比較を行うことで日本国憲法が民定憲法であることを理解させる。 大日本帝国憲法の内容から、欽定憲法の性格を理解させる。	日本国憲法の性格について理解できているか (考査・レポート)	2

4
月

指導内容 【年間授業計画】	科目日本史演習の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点 方法	予定 時数
④日本国憲法と基本的人権 法の下での平等 自由権、社会権、 新しい人権 人権の国際的保障	法の下での平等の歴史的意味、現代的意味を理解させる。 判例を通じて、人権の内容、人権のもつ現代的意義について考えさせる。 人権が国際的に保障されることによって、国内の人権に対する法的環境も変化することを様々な条約などを通じて理解させる。	人権の意味、内容について 理解できているか (考査・レポート)	4
⑤日本国憲法と政治機構 国会、内閣、裁判所	国会の機能と国民生活の関わりについて理解させる。 内閣の持つ行政権と国民の関係、行政機関との関係について理解させる。 司法権の独立と司法改革、裁判人制度と国民の司法権参加について理解させる。	三権の機能について理解できているか (考査)	3

5
月

指導内容 【年間授業計画】	科目日本史演習の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点 方法	予定 時数
⑥現代日本の政治課題 地方自治と住民福祉 政党政治と選挙 世論と現代政治	草の根民主主義について理解させる。 選挙の持つ重要性和選挙の仕組みについて理解させる。 国民の政治参加の重要性について理解させる。	国民と政治の関係について 理解できているか (考査・レポート)	2
2. 国際政治と日本 ①国際社会の成立と発展	ウエストファリア条約成立以後の国際社会のあり方の変容を理解させる。 国際法のあり方について国内法との比較をしながら理解させる。 国際政治を動かす要因である勢力均衡と集団安全保障について比較させながら理解させる。	国際社会の仕組みについて 理解できているか 考査・レポート	2
6月 ②国際連合と国際協力	国際連盟の成立過程と問題点について理解させる。 国際連合の成立過程、組織について理解させる。 国際連合の役割について理解させる。 PKO活動、多国籍軍の違いなど平和と国際連合の役割について理解させる。	国際連合の果たす役割につ いて理解できているか (考査)	2

指導内容 【年間授業計画】	科目日本史演習の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点 方法	予定 時数
③国際社会の動向 冷戦とその崩壊 冷戦終了後の社会 核兵器の現状	冷戦について理解させる。冷戦終了後国際社会のあり方がどのように変わったのか理解させる。 冷戦で大きな役割を果たした核兵器が、現在国際社会にどのような影響をあたえているか理解させる。	冷戦と冷戦が国際社会にもたらした影響について理解できているか (考査)	2
③国際社会の動向 朝鮮半島の現状 パレスチナ問題 日本の平和主義と安全保障	世界情勢について理解を深めさせる。 サンフランシスコ条約後日本が国際社会に復帰し、国際社会の一員として役割を果たしてきたことを理解させる。 9条の果たしてきた役割について理解させる。日本の国際貢献について理解させる。	世界情勢と日本の関係について理解できているか (考査・レポート)	3
7 月			

	指導内容 【年間授業計画】	科目日本史演習の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点 方法	予定 時数
8 月				

	指導内容 【年間授業計画】	科目日本史演習の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点 方法	予定 時数
9 月	Ⅱ 現代の経済 1. 現代経済の仕組みと特質 ① 経済体制	資本主義と社会主義の経済について理解させる。 資本主義と社会主義の変容について理解させる。	経済体制の違いについて理解できているか (考査)	2
	② 現代経済の仕組み 国民所得と国富 景気変動と経済成長	国の豊かさを示す指標について理解させる。 経済成長の考え方について理解させる。 現代の経済の現象と経済成長について理解させる。	経済が国民生活に与える影響について理解できているか (考査)	2

指導内容 【年間授業計画】	科目日本史演習の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点 方法	予定 時数
③現代経済の仕組み 金融と金融政策 財政と政府の経済政策	現代的金融政策について理解させる。 金融政策と国民生活の関係について考えさせる。 財政の果たす役割について考えさせる。 国民の財政負担とその意義について考えさせる。	金融、財政の現代経済における役割について理解できているか (考査)	4
④現代経済と福祉の向上 日本経済の発展と福祉の向上 食糧と農業生産 エネルギーと日本経済 公害防止と環境保全 都市問題 物価問題 消費生活の変化と消費者問題	高度経済成長の理由やオイルショック以降の日本経済の発展の特質を理解させる。 食糧の自給確保と農業生産の近代化の必要性を理解させる。 エネルギー自給が困難な日本経済のエネルギー対策について理解させる。 公害の歴史とそれに対する対策の現代的意義について考える。 都市問題発生理由と現代の都市問題について理解させる。 インフレーションの種類について理解し、物価上昇の理由について理解する。 デフレーションの原因と問題点について理解させる。 消費者主権のあり方について考え、消費者の現代現在の中での役割について理解させる	高度経済成長によって日本経済にどのような影響もたらされたか理解できているか。 (考査)	3

10
月

指導内容 【年間授業計画】	科目日本史演習の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点 方法	予定 時数
⑤国民経済と国際経済 中小企業問題 労使関係と労働市場 社会保障と社会福祉	中小企業の果たす役割と現代経済における中小企業の位置づけについて理解する。 現代の経済の中で著しく変化する雇用形態について理解する 日本の社会保障の現実と問題点について理解する。 国民の支えによって社会保障制度や社会福祉が実現していることを理解す	国民生活と経済の関わりについて理解できているか (考査)	2
II. 国際経済の仕組み ①第二次世界大戦後の国際経済の歩み 南北問題と国際経済	第二次世界大戦後の国際経済の在り方について理解する。 南北問題など国際経済には公平の観点から多くの問題が存在していることを理解する。	経済の国際的つながりについて理解できているか (考査)	2
11月			

	指導内容 【年間授業計画】	科目日本史演習の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点 方法	予定 時数
12	②地域的経済統合の進展 国際経済における日本の役割	EUの歴史を通じて経済統合の意味について理解させる。 NAFTA, ASEANなどの経済統合が出現した理由について理解させる。 EPA, FTAなど経済のグローバル化とその弊害について理解させる。 国際経済の中で日本が果たすべき役割について理解させる。	経済統合が国際経済にどのような影響を与えているか理解できているか (考査)	4
12 月				

指導内容 【年間授業計画】	科目日本史演習の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点 方法	予定 時数
Ⅲ現代社会の課題 ①現代日本の諸課題 少子高齢化と社会保障 雇用と労働をめぐる問題	社会保障制度を維持するにあたり、少子高齢化の影響と解決策について理解させる。 雇用形態の変化と外国人労働者の増加理由などの問題について理解させる。	日本社会の問題への理解 ができているか (レポート等)	2
②国際社会の政治や経済の諸課題 地球環境とエネルギー問題 人種・民族問題と地域紛争	地球規模の環境問題の日本への影響と日本のエネルギー政策の行方について理解させる。 民族問題、地域紛争の現状と解決策について理解させる。	国際社会の諸問題を自分 に関する部分で理解できて いるか (レポート等)	2
1 月			

	指導内容 【年間授業計画】	科目日本史演習の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点 方法	予定 時数
2 月				

	指導内容 【年間授業計画】	科目日本史演習の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点 方法	予定 時数
3 月				